

パーティーでの各人の作品発表

田中容子様

袖の着物から作ったコートです。大空いっぱい浮かんだ雲の模様が気に入って、自分のものにしたくて買って来ましたが、何年も押し入れの中で眠っていました。このコートの袖の形の特徴が、ゲンロク袖と言う小袖の着物が流石に似ているのが面白く気に入り、こちらもバツグンです。



この雲の模様が好きです

長方形の布に菱形の布を半分折り袖下の部分として縫い合わせ、見頃に繋げています。一重仕立てなので、最適な着心地です。

榎並多津子様

私がこのクレイアートに出会ったのは三年前。お友達に誘われて始めました。

材料は、石粉粘土です。



クレイアート 壁掛け

作品は小物のアクセサリー類や壁かけ、お花等色々

です。作品完成したら嬉しいものです。作品完成したら嬉しいものです。作品完成したら嬉しいものです。

お陰で仲間も増え、生活に潤いが出来楽しんでます。元氣なのが花とばかり年齢に応じたささやかな楽しみを見つけて、幸せを実感しています。

明見容子様

親戚の方から年代物の道行きコートを頂きました。色、柄共にとても気に入っています。



スリットで動きやすいコート

ほどこいてしまったら柄合わせも難しくなるので、なるべく原形を崩さないで着たいと思いました。そこで袖を身八口(みやづくち)のやや下で、バツサリ落とし、カフスをつけ、袖の残り布で、前あて、それとスノードを作って仕上げました。動き易い様両サイドにスリットも入れました。いろんな所へ着て行きたいです。

上村サト子様

私が着ていきますのは50年も前の絹のきものです。娘がムームードレスのようなワンピースを作ってくれましたが、縮まりがなくて長着ませんでした。最近ロングコートが流行り出した

ので、前身ごろを裁ち切った。このように羽織コートにしました。



着易くなった羽織コート

すっきり着易くなりました。

VG観輪創設15周年 記念パーティーは、みんなで楽しく

“みんなで楽しもう” 歌いましよ

今日の思い出を込めて皆さん声を合わせてうたうことにしました。

(1) 世界の国からこんにちは この歌は、大阪万博のテーマ曲。2025年日本国際博覧会が開催されます。

(2) 幸せなら手をたたこう

作詞者の木村利人が学生時代フィリピンでボランティア活動をしていた際に原曲を耳にし、帰国後に詞をつけて仲間内の愛唱歌として歌われていたのを坂本九さんが歌い始めた歌です。

みんなで 楽しく歌いました!!

会員だより

私は方向音痴

私は、何を隠そう方向音痴である。自慢ではな

いが、しょっちゅう道を間違える。どこかへ行くのには、必ずインターネットや地図で確認してそれを持って行くのだけれど必ずと言っていいほど道に迷う。手元の地図を見て、近くの掲示板なども見ているのである。

ずっと前、足の治療のため毎日のように歩いてきたことがあったが、おかしいほど毎日道に迷っていた。



ある年、初詣に行つて帰り道に迷い、行き先のない、三倍も歩いて、フラフラになり

り帰りに行く予定も変更して帰ったこともある。とんだ初迷いであった。自分ながらあまりのことになんでだろうと悩んだものである。考えてみると私の頭が悪いとしか考えられない。地図の見方がわるいのだろうか。地図のとおり歩いているのに違うところへ出てしまふ。同じところを何回も行った来たり。足の治療には大いに役立ったけれど。

あるとき友達の集まり

で、その話をしたところ、私も方向音痴です。私も、私もとたくさんいるではない「方向音痴」と体裁よく行っていたのが、単なる老化現象だったのかと得心した次第です。

記・図：牧戸富美子

人の心をつなぐもの

9月21日のその協働フェスタ高槻でヒマワリの種と苗を戴きました。ブースタの名は「笑顔広がりプロジェクト」のグループです。

東北震災をきっかけに生まれた防災のメッセージを伝えるプロジェクトです。今頃ひまわりと想っていました。10月中旬可愛い矮性のヒマワリが咲きました。家の前に置いておくと、毎日の出入りの際、まさに笑顔を振りまいてくれているようでした。

当日背中合わせに「日本熊森協会(くまもりきょうかい)」がブースタを出しておられました。熊たちが棲める森を奥山に復元し、熊と共存できる日本を作ろうという活動だそうです。

組織は全国的で、その問題となる熊に限らず、動物物の環境を考える世界規

模になると熱心に解説してくださいました。私には初めての名前でしたが、その後、VG観輪に賛助会員がられると知って、またびっくりしました。義弟が福井の山中で渓流釣りをしているとき、熊に襲われて大けがをして以来、熊は悪獣と意識してきましたが、協会の人から話を聞くとだんだん熊が可愛く思えてきました。

愛新覚羅溥生(こせい)

さんゆかりの朝顔もすっかりです。中国、清朝最後の皇帝、愛新覚羅溥儀の弟溥傑氏と旧侯爵・嵯峨家から嫁いだ浩夫妻の中国のもとに溥生さんが届け、ご両親が喜ばれ、その後「日中友好の朝顔」と各地で受け継がれています。大岡会長から頂いたVG観輪会員も今年のは沢山の濃紅の美しい花を楽しんで、中国に眠られるお二人を偲びました。人の心を繋ぐものはやはり人です。



はるかひまわり

写真：上村サト子 神田フクエ